



## 年頭のごあいさつ

### 環境首都へのレベルアップの年に

安城市長 神谷 学



市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。平成19年の輝かしい新春を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

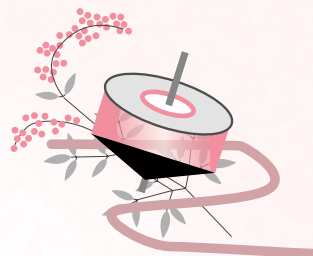
さて、わが国の経済は、消費、投資、外需のバランスがとれた景気回復が続いています。特にこの地域は、国の平均を超える経済の推進力があり、本市の市税収入も堅調な伸びを示しています。

昨年は、めざす都市像「市民とともに育む環境首都・安城」実現へのステップアップの年と位置付け、あらゆる事業に環境の視点を取り入れてまいりました。また、市民・市民団体・事業者・市が協働して環境保全と創造に資することを目的とした協議会「エコネットあんじょう」の設立により、市民とともに環境施策を進めていく上での礎を築くことができました。

本年は、節目となる市制施行55周年を迎え、環境首都実現に向け、さらなるレベルアップを図ってまいります。引き続き環境に対する取り組みを拡充し、子育て支援や福祉の充実、教育施設の整備など、子どもからお年寄りまで誰もが健康で安心して暮らせる環境づくりを推進します。さらに、市街地の基盤整備や地域の課題に対応するための事業を積極的に進めるとともに、「市民が主役の行政運営」の理念のもと、環境首都にふさわしい魅力あるまちづくりに向け一層努力する所存でございます。

また、安城産業文化公園「デンパーク」は本年開園10周年を迎えます。55歳のローラーすべり台を設置するなどリニューアルを図るとともに、多彩な記念イベントも予定していますので、ぜひお出かけください。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



## 住んでよかったと思える まちづくりをめざして

安城市議会議員 細井 敏彦

市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。平成19年の新春を迎え、謹んで皆さまのご健勝を心からお喜び申し上げます。

さて、現在の景気拡大は、戦後最長を記録しました。企業がけん引した成長は、「実感の薄い経済成長」ともいわれますが、今後、これが家計部門に波及し、さらなる景気回復を願うものであります。

昨年は、「美しい国」づくりを政治理念に掲げた安倍政権が誕生しました。少子高齢化、都市と地方の不均衡、厳しい財政事情など課題が山積しています。が、誰でもがチャレンジできる活力に満ちた社会が形成されることを期待するものです。

地方行政においては、市町村合併、三位一体の改革など分権改革の第1ステージが終了しましたが、依然国の関与が残る、「未完の改革」といわれています。今後は、税源移譲をさらに求め、各自自治体の個性を生かしたまちづくりを進めることが重要です。

本市は昨年、環境首都コンテストで総合3位の評価をいただきました。神谷市政のもと、めざす都市像の実現に向けた施策が推進され、着実な市政運営がされていることは誠に喜ばしいことです。幸いにも現在は健全な財政状況ですが、本年以降は大型事業が控えています。今後はさらなる創意と工夫により、暮らしに必要な公共サービスを効率的、効果的に提供し、市民の皆さまに信頼される姿を描いて行く必要があります。市議会としましては心新たに、安城市に住んでいてよかったと思えるまちづくりのため、一層の努力をしてみたいと存じます。結びにあたり、市民の皆さまには、ご健勝で良い年でありますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。